

東北関東大震災への支援について

東北関東大震災に対する哀悼とお見舞いのことば

3月11日に発生した「東北関東大震災」で犠牲になられました皆様に哀悼の意を表するとともに、未だ安否が不明な方や、孤立し支援の手が届いていない方、避難生活を余儀なくされている方からお見舞い申し上げます。

また、現在も余震が続く中、身の危険を顧みず行方不明者や負傷者等の救援、救出、救護にあたっておられる関係各位のご努力に心から敬意を表します。

本町でも、明治15年に宮城県出身者が入植して以来120年余りの間、幾度も大きな地震に見舞われてきましたが、このたびの地震は、国内観測史上最大のマグニチュード9.0という巨大地震であり、直後に発生した津波の規模も想定を遥かに上回るもので、あらためて自然の力の大きさを痛感させられました。

このかつてない大災害による甚大な被害を最小限に食い止め、一日も早く被災地が復興されることを心からお祈りし、職員の派遣や救援物資の輸送など、町としてできる限りの支援を、政府、北海道、町村会等の関係機関と連携を図り行ってまいりたいと考えておりますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

以上、町民を代表し、「東北関東大震災」に対する哀悼とお見舞いのことばといたします。

幕別町長 岡田和夫

町の取り組み

◆支援物資について

町民の皆さんからの支援物資の受け付けについては、現在、被災地への輸送手段や受け入れ体制が整っていないことなどから、町の受付窓口は開設していません。今後、町の受付窓口を開設することになりましたら、改めてお知らせします。

また、町では、3月18日に災害に備えて備蓄している物品等の中から毛布500枚と非常食1,000食分を陸上自衛隊帯広駐屯地に運び込み、自衛隊による輸送が行われました。

◆人的支援について

3月25日から町の消防職員5人が救助隊として派遣されたほか、31日には町職員2人が、被災地の危険度判定のため、宅地判定業務支援に派遣されました。

被災者の受け入れ支援については、福島県から1家族を受け入れており、今後も受入態勢の整備を進めます。

◆義援金の受け付けについて

日本赤十字社幕別町分区にて義援金を受け付けています。詳しくは36ページをご覧ください。

◆その他

東京電力福島第1原子力発電所の事故の影響について、北海道では、各総合振興局・振興局の敷地内で1日3回、放射線量の測定を行っています。放射線量は平常レベルで推移しており、安全が確認されています。詳しくは北海道のホームページをご覧ください。

◆問い合わせ先

町民課交通防災係 ☎【幕】54-6601



町議会議員で構成する議員会と退職議員で構成する議友会が役場を訪れ、日本赤十字社幕別町分区（岡田和夫幕別分区長）に寄附金を渡しました。